

千田学区まちづくり推進委員会

委員長 弓井 英志

（問合せ先） 084-955-0023（千田交流館）

事業内容

- (1) 三世代ふれあいまつり（11月25日）
- (2) 安全なまちづくり（防災・子どもの居場所づくり）
 - 自主防災訓練（11月26日）
 - ふれあい教室（通年）
 - 夏休み子ども教室（3回）・おもちゃサロン（月1回）・子ども文庫（月2回）など
 - 防犯・見守り活動（通年）
 - 下校時の子ども見守り活動・子ども110番の家・防犯夜間見せるパトロール活動
- (3) ふるさと盆踊り大会（8月5日）
- (4) 学区民スポーツ祭（10月22日）
- (5) ふれあい文化祭・千田学区敬老会 合同開催（11月5日）
- (6) とんど祭り（1月8日）
- (7) 農業体験（通年）
 - 千田小・せんだの森（認定こども園）と農園ボランティアによる稲作・野菜作り体験活動
- (8) 千塚おどり（通年）次世代への伝承活動（千田小4年生・盈進学園応援部への指導など）
- (9) 環境美化活動
 - 学区一斉清掃（5月21日・9月17日）、河川美化活動、ごみ減量化活動（通年）
- (10) 健康・生きがいつくり
 - 健康講演会（10月1日）
 - ふれあい楽習（ポッチャ体験会など 通年5回）
 - 料理教室（男の料理教室、健康料理教室、食推料理教室など 通年31回）
- (11) コミュニティ育成活動（通年）
- (12) まちづくり運営事業（通年）

成果

今年度より、ふるさと盆踊り大会・学区民スポーツ祭を実行委員会形式で実施したことで、各町内会が主体的に参加する意識が高まった。各行事へのキッチンカー導入などで、役員の負担を軽減することができた。

課題

町内会未加入世帯の増加や高齢化などで、地域コミュニティ活動の維持・継続が難しくなっている。若い世代への情報発信、役員の負担軽減のためのデジタル化を進めることが必要となっている。

課題解決にむけて

来年度は、各事業にかかわる役員の負担軽減につながる新しい連絡手段として、また、若い世代を含む幅広い地域住民への情報発信のため、SNSでの広報活動などを取り入れていきたい。

心豊かな子どもたちの成長を願って…

食育や自然の恵みを学び、心豊かでたくましい子を育てたいと、2008年(平成20年)から小学校近くの畑を借りて活動を始めました。今年度は、千田小児童・認定こども園せんだの森の園児たちが、玉ねぎ、ジャガイモ、さつまいもを植付・収穫しました。



もちつき体験
じゃがいも植付

わくわく 農園の 1年間

玉ねぎ収穫
さつまいも植付



田植え
ジャガイモ収穫



玉ねぎ植付
もみすり



稲刈り
さつまいも収穫



今年で15年目の活動を支えているのは、農園ボランティアです。子どもたちの笑顔や、「嫌いな野菜が好きになったよ」などの声が原動力です。



2012年(平成24年)から小学校隣接の田んぼを借り稲作も始まり、子どもたちは収穫したもち米や稲わらを使い「餅つき」「しめ縄づくり」体験をしています。また、学区とんど祭りでも「とんど」「ぜんざい」の材料として使用しています。